

日本学生支援機構 大学院第一種奨学金の貸与が 令和元年度中に終了する方・終了した方へ

令和元年度 特に優れた業績による学資金返還免除制度の 概要等及びスケジュール（予定）について

令和元年 11 月

● 返還免除制度の概要等

1. 制度の目的

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、奨学金貸与期間中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度です。学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価を行い、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。

2. 対象者

①大学院第一種奨学金採用者で、当該年度中（平成31年4月～令和2年3月）に奨学金の貸与が終了する者（満期・辞退・退学等を含む。）

※ 日本学術振興会特別研究員に令和2年度から採用され、大学院第一種奨学金を辞退する者を含む。

なお、特別研究員の補欠者として、令和2年度から採用される可能性がある者についても、本年度中に奨学金を辞退する可能性がある者として申請を認めます。（ただし、補欠採用に至らず、本年度中に奨学金を辞退しない場合には、本制度の申請を辞退するものとして扱います。）

②必ずしも課程修了を要件とはしないが、貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績をあげた者

3. 業績及び評価基準

返還免除の対象となる業績は、大学院における教育研究活動等に関する業績及び専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績です。

(1) 学位論文その他の研究論文

学位論文の教授会での高い評価、専攻分野に関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰

(2) 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果（いわゆる「リサーチペーパー」）

特定の課題についての研究の成果の審査の結果が教授会等で特に優れていると認められること

(3) 著書、データベースその他の著作物（前2項に掲げるものを除く。）

専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等が、社会的に高い評価を受ける等、特に優れた活動実績として評価されること

(4) 発明

特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること

(5) 授業科目の成績

講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績をあげたと認められること

(6) 研究又は教育に係る補助業務の実績

リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績をあげたと認められること

(7) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績をあげたと認められること

(8) スポーツの競技会における成績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた結果を収める等、特に優れた業績をあげたと認められること

(9) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること

4. 平成 30 年度 神戸大学全学の返還免除対象者数及び免除の実績

課 程	対象者数	申請者数	推薦者数	全額免除	半額免除	免除者数合計
博士前期（修士）課程	381	218	115	20	95	105
博士後期（博士）課程	49	37	16	6	9	15
専門職学位課程	27	13	8	2	6	8

※ 対象者数は、当該年度に貸与期間が終了した人数。

● 令和 2 年度申請スケジュール

- ・ 申請書類関係 令和元年 12 月中旬（予定）に本学ホームページに掲載します。
- ・ 申請受付期間 令和 2 年 1 月 7 日（火）～ 1 月 10 日（金） 8：30～17：00（予定）
- ・ 申請受付場所 学生支援課奨学支援グループ（鶴甲第 1 キャンパス B 棟 1 階）

※医学、保健学及び海事科学研究科については、当該研究科の奨学金担当係で受け付けます。

※受付期間終了後は、一切受け付けません。

※申請の際、貸与終了時に在学している課程での実績を業績として申請しますが、それぞれの業績に証明となる書類の添付が必要ですので、早めに確認しておいてください。なお、申請時において未発表、未掲載の業績でも、掲載が決定されている通知文書（学会等が発行したもの）を添付すれば業績とすることができます。

業績書類は、原則として、A4 印刷（極力、両面印刷）で統一してください。

- ・ 研究論文 … 掲載された学術雑誌等の表紙、掲載部分の写し、学会発表のパンフレット、プログラム等

【昨年度からの変更点】

業績のうち、(1)学位論文その他の研究論文、及び(2)大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果の提出方法は、下記のとおりとします。下記いずれの場合においても、全ての業績について業績一覧への記載は必要です。

<上記(1)(2)の提出方法の概要>

研究業績の種類	提出件数
下記①（学位論文等）	1 点まで
下記②（研究論文のうち、主な業績）	博士前期・修士・専門職学位課程：1 点まで 博士後期（博士）課程：3 点まで
下記③④（①②以外の研究論文、及び学会発表）	上限なし

＜上記(1)(2)の提出方法の詳細＞

- ① 学位論文及び特定の課題についての研究の成果については、要旨（各研究科指定様式）のみを提出。
 - ② 学位論文以外の研究論文のうち、主な業績については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - ア 論文全文
 - イ 学術雑誌等の表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - ウ 学術雑誌等（又はウェブサイト）の目次（申請者名が明記されたページ）
 - エ 学術雑誌等又はウェブサイトに掲載前の論文にあっては、上記イ・ウに代えて、掲載決定通知の写し
 - ③ 学位論文以外の研究論文のうち、上記②以外については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - オ 論文の表紙又は1ページ目など、申請者名（著者名）、論文題目が明記されたページ
 - カ 学術雑誌等の表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - キ 学術雑誌等（又はウェブサイト）の目次（申請者名が明記されたページ）
 - ク 学術雑誌等又はウェブサイトに掲載前の論文にあっては、上記カ・キに代えて、掲載決定通知の写し
 - ④ 学会発表については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - ケ ポスター発表の場合は、ポスターをA4縮小印刷。口頭発表の場合は、プレゼン資料1～4ページ目を2UP（A4サイズ1枚）で両面印刷。
 - コ 学会プログラムの表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - サ 学会プログラムのタイムテーブル、又は会場見取図（申請者名が明記されたページ）
 - シ 学会賞を受賞した場合は、上記ケ～サに加え、賞状のコピー（学会賞は独立した業績としては扱わない）
- ・ TA、RA等の実績 … 委嘱状又は採用決定通知書の写し 等
（紛失等により手元にない場合は、所属研究科に証明書の作成を早めに依頼してください。）
 - ・ その他の業績 … 賞状、表彰状、新聞報道記事 等

照会先

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ（鶴甲第1キャンパスB棟1階）

E-mail: stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp

※返還免除の申請手続き等の詳細は、12月中旬に掲示板、ホームページでお知らせします。